

家庭への省エネ機器導入促進研究会 議事要旨

1 日 時 平成 30 年 12 月 19 日（水）午後 2 時～ 4 時

2 場 所 京都ガーデンパレス 2 階 橘

3 出席者 別添名簿のとおり

4 議 事

● **第 1 回研究会を受けた論点の整理**

事務局（京都府地球温暖化対策課）より、第 1 回の論点を説明し、省エネ意識の高くない層への啓発方法等について意見を求めた。

● **講演「高効率家電の普及に向けた一考察」榎原氏（株式会社 E-konzal）**

家庭における電力使用状況の説明。電力使用量の多い家庭の絞り込みや、具体的な啓発方法等について御提案いただいた。

● **家庭への省エネ機器導入促進に係る課題についての議論**

家電の買い替えを促すため、対象家電や金融面の仕組み等について議論。

5 主な意見

<節電払い等の仕組み構築にあたってのハードル>

- ・ 「節電払い※」の仕組みについて、民間のリースや一括払いに勝る金融の仕組み作りは、現状のところハードルが高い

※古い家電から新しい家電に替えることにより、省エネによる電気代の削減ができることが分かっており、その電気代の差額分をリース費用とし、初期投資無しで新しい家電を導入するもの

<啓発方法について>

- ・ 家電の買い替えを検討している方とそうでない方のそれぞれに対策すべき
- ・ 高齢者には、周囲の方々が取り組めるような、本人以外でも可能な啓発にすべき
- ・ 家電の場合、買い換えという感覚がなく、壊れたら買うという意識を変えるよう工夫すべき
- ・ 古い冷蔵庫の発見コンテストの実施はどうか。先着順であれば、啓発効果も高い

6 今後の予定

- ・ 今年度で開催した 2 回の研究会の結果を踏まえ、家庭部門における二酸化炭素排出量の削減に効果的な施策について、来年度も引き続き研究会を実施し、必要な方策等について検討する。